

2008年6月期決算説明会

2008年7月25日



トツキ株式会社
代表取締役社長
津上 晃寿

目次

決算ハイライト	3
---------	---

2009年6月期見通し	11
-------------	----

補足資料	17
------	----



決算ハイライト



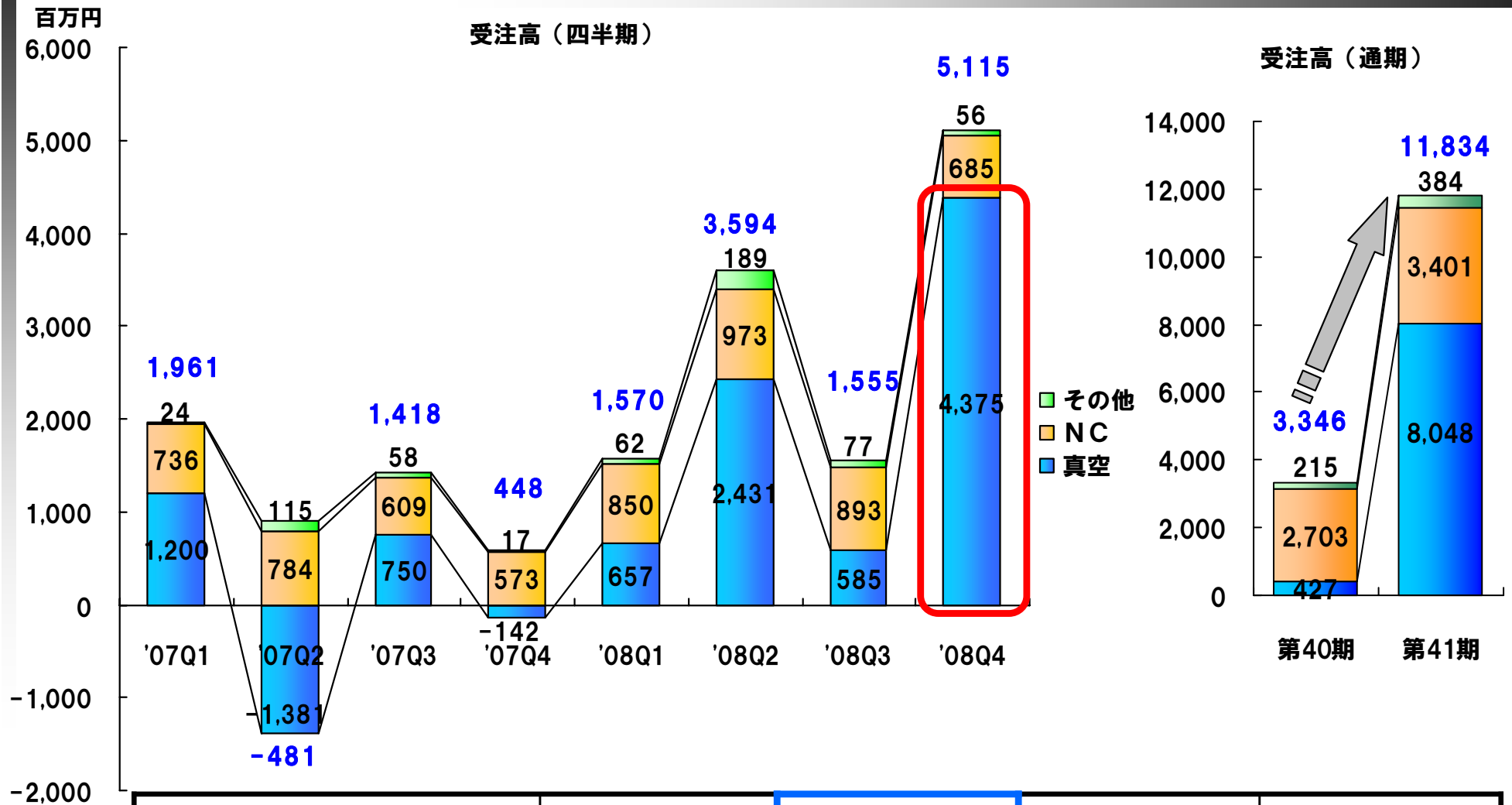
連結決算ハイライト

【単位：百万円】

	2007年6月期 (2006. 7~2007. 6)	2008年6月期 (2007. 7~2008. 6)	比較増減
受注高	3,346	11,834	+8,488
受注残高	2,042	7,267	+5,225
売上高	7,194	6,610	△584
売上総利益	△1,002	584	+1,586
販売・管理費	1,236	1,334	+98
営業利益	△2,238	△750	+1,488
経常利益	△2,347	△799	+1,547
特別損益	△2,287	+152	+2,439
当期純利益	△4,776	△656	+4,120

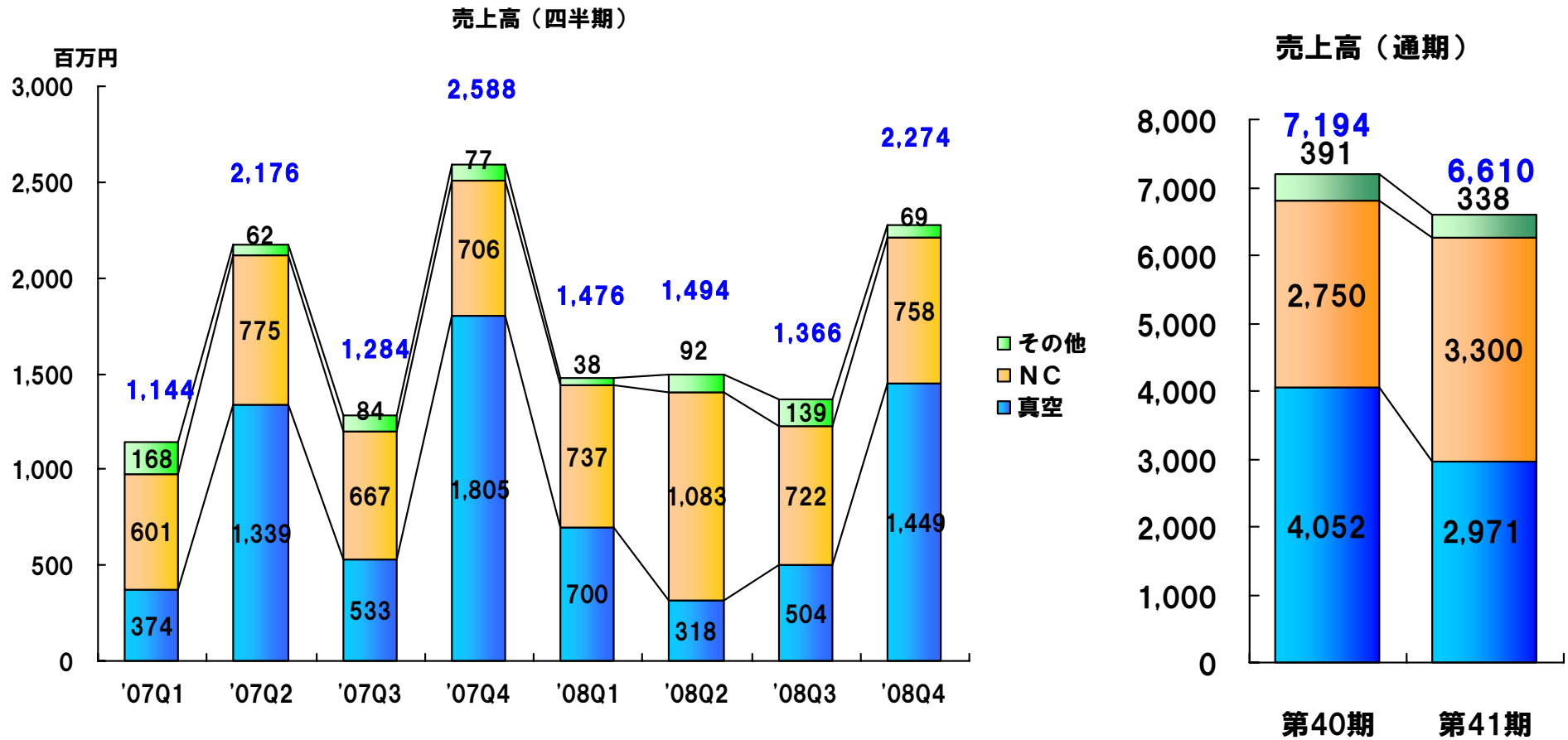
注：百万円未満は切り捨てて表示しています。

セグメント別 連結受注高（四半期）



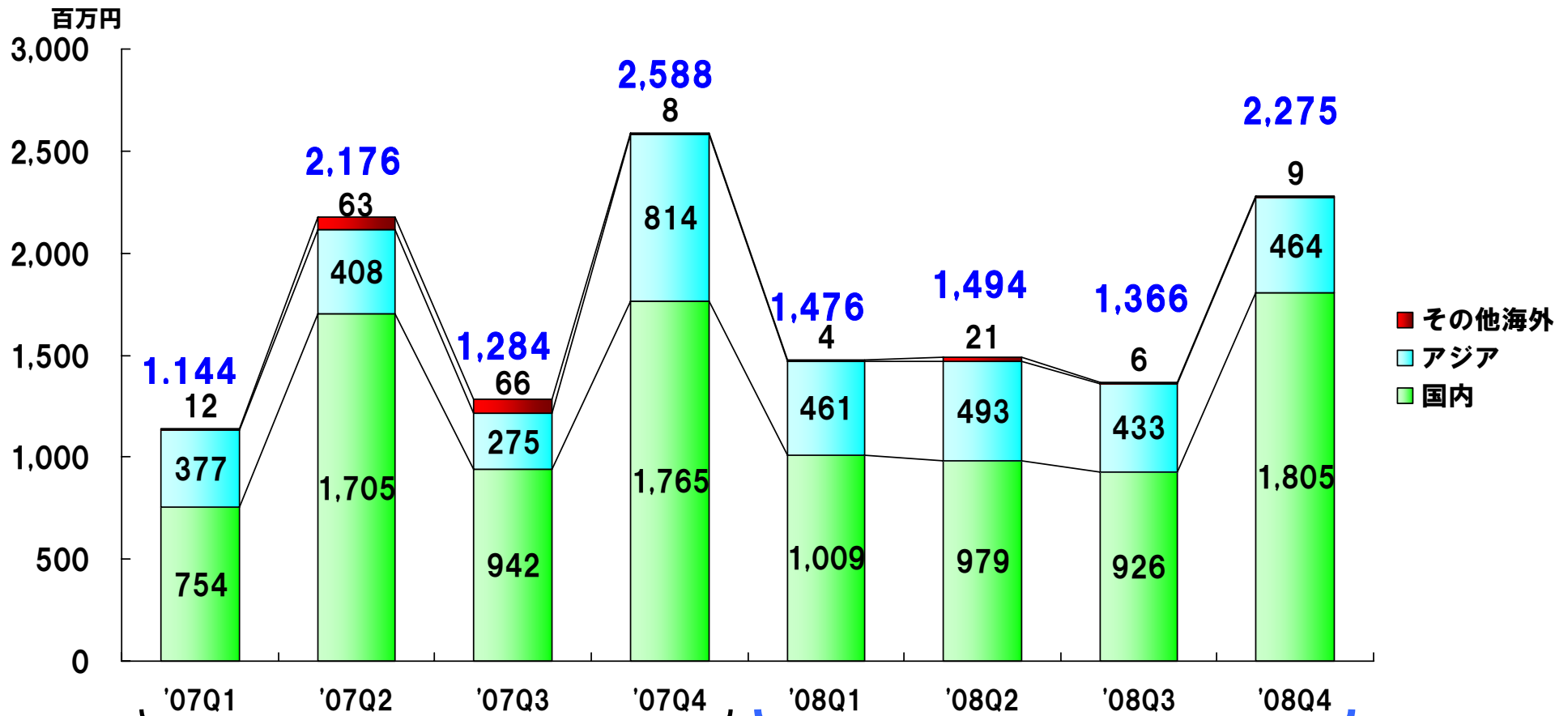
（単位：百万円）	2007年6月期	2008年6月期	増 減	増減率 ポイント
真空技術応用製品事業	427	8,048	+7,621	+1783.5
NC工作機械等販売事業	2,703	3,401	+697	+25.8
その他事業	215	384	+169	+78.5
合計	3,346	11,834	+8,488	+253.6

セグメント別 連結売上高（四半期）



(単位：百万円)	2007年6月期 (通期)	2008年6月期 (通期)	増 減	増減率 ポイント
真空技術応用製品事業	4,052	2,971	△1,081	△26.7
NC工作機械等販売事業	2,750	3,300	+550	+20.0
その他事業	391	338	△53	△13.6
合計	7,194	6,610	△584	△8.2

地域別 連結売上高（四半期）



(単位：百万円)	2007年6月期 (通期)	2008年6月期 (通期)	増 減	増減率 (ポイント)
国内	5, 1 6 7	4, 7 1 9	△4 4 8	△8. 7
アジア	1, 8 7 6	1, 8 5 1	△2 5	△1. 3
その他海外	1 5 1	4 0	△1 1 0	△7 2. 8
合計	7, 1 9 4	6, 6 1 0	△5 8 4	△8. 1

連結貸借対照表

【単位：百万円】

	2007年6月期	2008年6月期	比較増減	主な要因
資産合計	8,730	9,776	+1,046	
流動資産	4,872	6,352	+1,480	
現金及び預金	2,649	2,030	△619	
売上債権	1,355	2,072	+717	
たな卸資産	682	2,045	+1,363	受注増による仕掛増加
固定資産	3,857	3,423	△434	
有形固定資産	3,209	3,051	△158	
負債合計	7,593	3,409	△4,183	
流動負債	5,114	3,369	△1,744	
買掛債務	1,024	2,066	+1,042	
短期借入金	2,440	130	△2,310	短期借入金の返済
固定負債	2,478	39	△2,439	
長期借入金	2,271	0	△2,271	長期借入金の全額返済
純資産合計	1,136	6,366	+5,230	第三者割当増資
負債・純資産合計	8,730	9,776	+1,046	

キャッシュ・フロー、主要指標

【単位：百万円】

		2007年6月期	2008年6月期	主な要因
キャッシュ・フロー	期首残高	1,002	2,649	
	営業活動CF	1,142	△1,196	たな卸資産増△1,499 売上債権増 △717 仕入債務増 +1,042
	投資活動CF	315	52	
	財務活動CF	188	524	株式発行収入+5,891 借入金返済 △5,375
	増減	1,646	△618	
	期末残高	2,649	2,030	
主要指標	自己資本比率	13.0%	65.1%	第三者割当増資
	流動比率	95.2%	188.5%	借入金の返済とたな卸資産の増加

企業環境

- キヤノン株式会社との資本業務提携（2007年12月）
- 新経営体制・新組織の発足（2008年3月）

全社業績

	40期		41期
■ 売上総利益率の大幅改善	-13.9%	⇒	8.8%（前年比22.7pts.改善）
■ 受注の大幅拡大	33億円	⇒	118億円（前年比257%増）
■ 自己資本比率の大幅改善	13.0%	⇒	65.1%（前年比52.1pts.改善）

事業

- 有機EL製造装置：
 - ・ 既存有力顧客からの増設案件受注
 - ・ 全顧客直販化
- 薄膜太陽電池製造装置：
 - ・ 化合物太陽電池量産機の納入及び新規受注
 - ・ 展示会への積極出展と見込客開拓



【環境総合展2008】（札幌ドーム）の産総研ブースにて、有機薄膜太陽電池のデモ

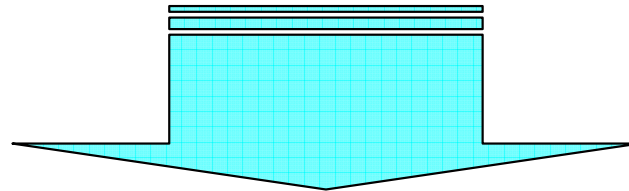


2009年6月期見通し



2009年6月期 経営目標

- 5期ぶりの黒字転換
- 継続的かつ安定的成長ステージへの移行



健全な企業体質への変革

2009年6月期 業績予想

【単位：百万円】

		2008年6月期 ('07.7~'08.6)	2009年6月期予想 ('08.7~'09.6)	比較増減
連結	受注高	11,839	13,000	+1,161
	売上高	6,610	13,000	+6,390
	営業利益	△750	140	+890
	経常利益	△799	130	+929
	当期純利益	△656	120	+776
単独	受注高	8,048	9,000	+952
	売上高	2,971	9,200	+6,229
	営業利益	△751	120	+871
	経常利益	△804	110	+914
	当期純利益	△657	100	+757

経営構造改革の更なる推進と加速

製造原価の低減

- 共通設計の推進と流用率の向上
- キヤノングループ調達ネットワークの活用
- 原価統制の強化

技術力の強化

- 設計改革の推進
- 差別化技術の蓄積と知的財産化の強化
- 中期成長を支える戦略的かつ効率的な研究開発投資

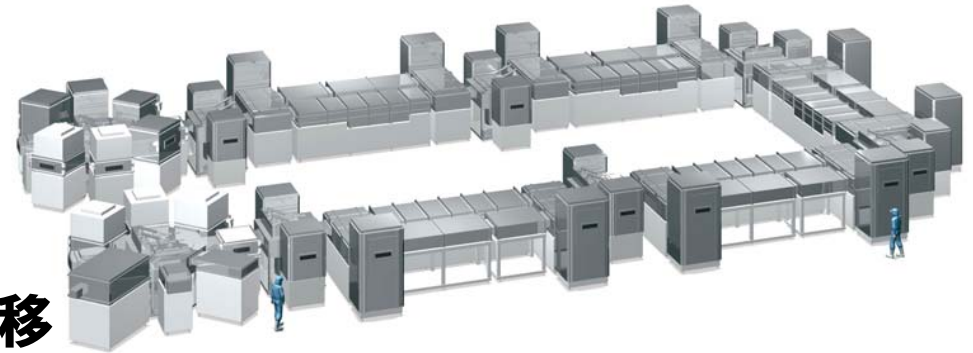
販売・サービス・サポート力の強化

- 事業バランスの安定化を重視した受注展開
- 海外営業展開の加速と強化
- 拠点整備等による国内外サービス・サポート体制の強化

経営管理体制の強化

- 内部統制体制の強化
- 新会計基準/J-SOX法対応

有機ELディスプレイ製造装置



- 引合・受注は回復基調で好調に推移
- 国内外顧客からの新規・増設・改造引合案件の確実な受注展開
- パネルメーカー・有機材料メーカーとの積極的な協業の推進
- 顧客ニーズに合わせた高性能・低価格・短納期に対応する革新的な量産装置システムの開発・販売
- 有機照明用装置として試作実験機等の受注活動を積極展開
- 膜封止技術等フレキシブル基板対応装置の技術確立
- 市場の拡大に対応した国内外のサービス・サポート体制の充実

当社の薄膜太陽電池製造装置

化合物薄膜太陽電池製造装置

- 量産用大型スパッタリング装置の納入
- 既存顧客からの新規・増設案件の受注
- 顧客ニーズに対応した更なる技術開発の重点展開



有機薄膜太陽電池製造装置

- 展示会等への積極出展による販売強化
- 三菱商事、産総研との共同開発展開
早期の商品化・市場投入を目指す
- エネルギー変換効率の向上と生産コスト低減等への挑戦



補足資料

損益計算書推移	18
セグメント別売上推移	19
地域別売上推移	20
キャッシュ・フロー計算書推移	21

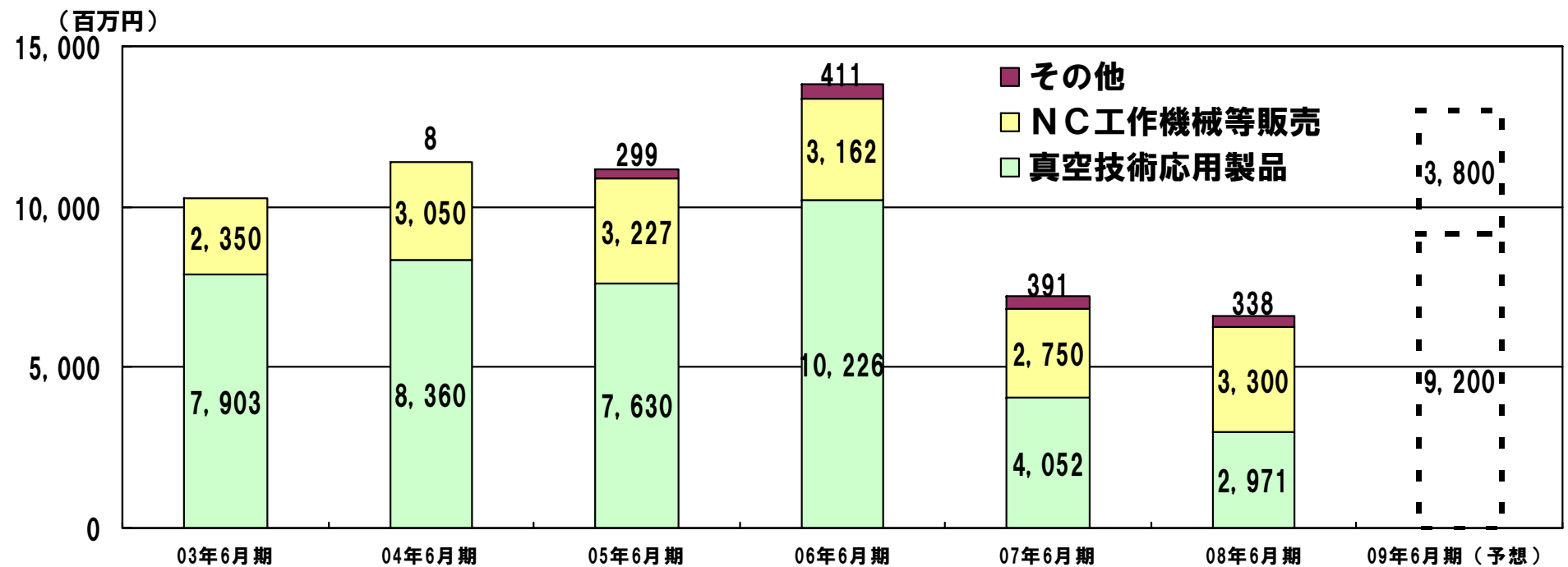
損益計算書推移

(単位：百万円)	03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期	08年6月期	09年6月期 (予想)
売上高	10,253	11,419	11,157	13,800	7,194	6,610	13,000
売上総利益	1,458	1,718	522	1,659	-1,002	584	—
(売上総利益率)	(14.2%)	(15.0%)	(4.6%)	(12.0%)	(-13.9%)	(8.8%)	—
(販管费率)	(10.5%)	(13.6%)	(13.8%)	(10.8%)	(17.1%)	(20.1%)	—
営業利益	380	164	-1,024	165	-2,238	-750	140
(営業利益率)	(3.7%)	(1.4%)	(-9.1%)	(1.1%)	(-31.1%)	(-11.3%)	(1.1%)
経常利益	304	131	-1,033	135	-2,347	-799	130
当期純利益	167	105	-964	-154	-4,776	-656	120

セグメント別売上推移

(単位：百万円)

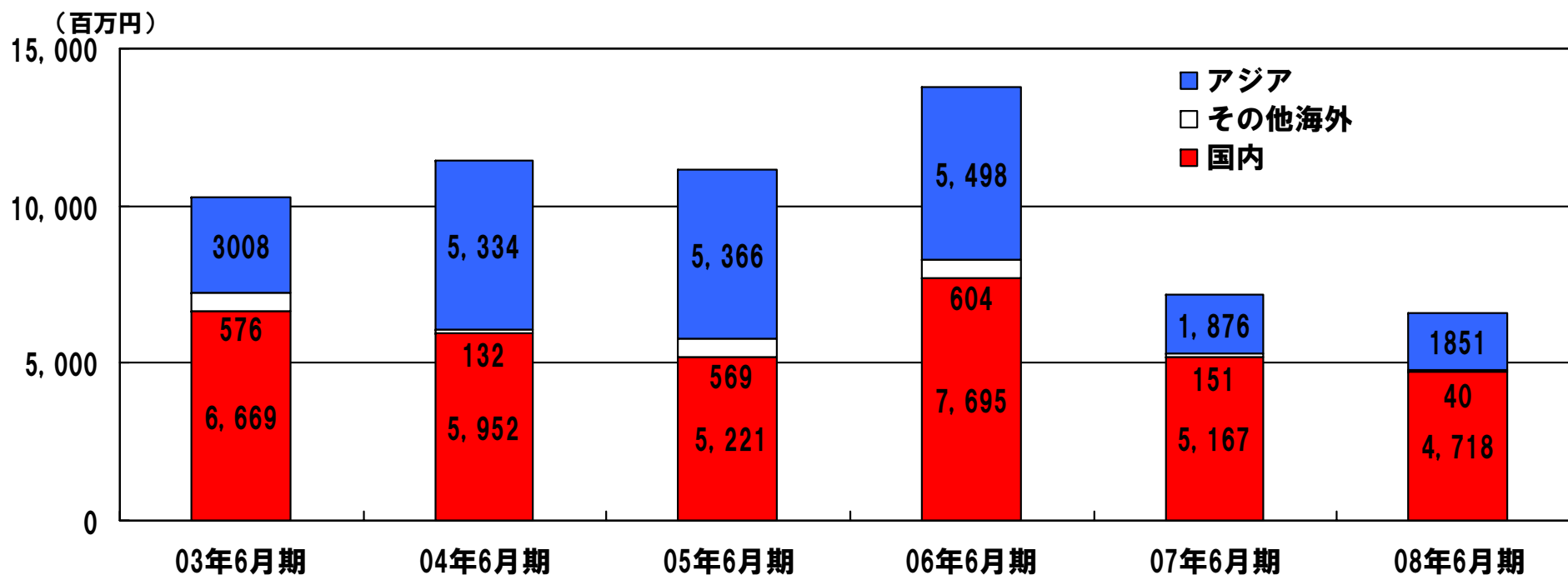
		03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期	08年6月期	09年6月期 (予想)
真空技術応用製品	売上高	7,903	8,360	7,630	10,226	4,052	2,971	9,200
	構成比	77.1%	73.2%	68.4%	74.1%	56.3%	44.9%	70.8%
NC工作機械等販売	売上高	2,350	3,050	3,227	3,162	2,750	3,300	売上高
	構成比	22.9%	26.7%	28.9%	22.9%	38.2%	49.9%	3,800
その他	売上高	—	8	299	411	391	338	構成比
	構成比	—	0.1%	2.7%	3.0%	5.4%	5.1%	29.2%



地域別売上推移

(単位：百万円)

		03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期	08年6月期
アジア	売上高	3,008	5,334	5,366	5,498	1,876	1,851
	構成比	29.3%	46.7%	48.1%	39.8%	26.0%	28.0%
その他海外	売上高	576	132	569	604	151	40
	構成比	5.6%	1.1%	5.1%	4.3%	2.0%	0.6%
国内	売上高	6,669	5,952	5,221	7,695	5,167	4,718
	構成比	65.0%	52.1%	46.8%	55.8%	71.8%	71.4%



キャッシュ・フロー推移

(単位：百万円)	03年6月期	04年6月期	05年6月期	06年6月期	07年6月期	08年6月期
営業活動による キャッシュ・フロー	91	2,065	-1,488	-3,477	1,142	-1,196
投資活動による キャッシュ・フロー	-2,517	-784	9	-166	315	52
財務活動による キャッシュ・フロー	2,219	628	567	3,303	188	524
現金及び現金同等物 期末残高	344	2,254	1,342	1,002	2,649	2,030
現金及び現金同等物 増減額	-206	1,909	-912	-339	1,646	-618



お問い合わせ

トッキ株式会社 広報・IRグループ
TEL：03-3551-3151
ir-section@tokki.co.jp

本資料について

将来見通しに関する注意事項

本資料に記述されている当社の業績予想、本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、有機EL・太陽電池市況、販売競争の激化、急速な技術革新への当社の対応力、安全・品質管理、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる可能性があります。

数字の処理について

記載された金額は当社発表の決算短信にて発表した数値を記載していますが、別途計算が必要な数値は百万円単位未満を切り捨て処理、比率は百万円単位で計算した結果を切り捨て処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。